

研究協議より ～ Jamboard を振り返ろう。どんな話し合いになったんだろうか ～

1・2年生指導案交流

グループA

青 付箋 質問・代替案は 赤 付箋

1年生

みんなで協力して学習する力を育む

かごに分ける時に、正解を絞ろうとする動きが出た。指示がうまくいかなかった時の対応があるとうよかった。

みんなそれぞれ、の考えでかごに分けることが出来ていた。

全員が発言する機会があり、子どもたちが進められていた。

1年生に提示を出しての指示は難しいかも。どちらかの学年に比重をかけてもいいかも

子どもたちが聴きあえる関係、力がついていた。

目標が達成できていた。

2年生

言葉（用語）を使って説明することができる。

先生ついていなくても子どもも動いている。介入するタイミング 腹式は大変 低学年は。担任がいる時 サポート 必要

考える焦点が絞れていた。

キーワードを使って自分で説明することができていた

最後に時間ができてしまい、手持ち無沙汰になってしまった。

用語を意識するための発問が整理されていた。

かんげんくんの分け方は？

支援の先生に指示出しをしてもらうことで、時間の短縮を図るといっている。

支援の先生との打ち合わせを持つ

1・2年生指導案交流

グループB

良いなと思う活動は 青 付箋 質問・代替案は 赤 付箋

1年生

みんなで協力して学習する力を育む

先生がつかない時間でも、指示があって行動することが出来ていた。

より効率的に タブレットでもそれを身につけさせる時間がある。例 ファイルにしてノートを使わず いつでも見直しできる。知る時間の解消 次の学年で意識して

2年生

言葉（用語）を使って説明することができる。

原体験 形を見るのができていた。腹式の苦しさ 2年生は育ててくるもうすこし 意見 フリースペース もあり

ワークシートは、良かった。授業者 ノートを使わせる理由。書けなかったら意味ないから結果的に子供が伸びればいいから 例 ノートは計算、(知識技能の時)ワークシートは考える時。

子どもたちが活動しやすいように。机をくっつけて話し合いができる形。

なんで三角形と言ってるじゃない知識でみんなまで進めていくと。キーワードで進める。2年生に3年生でいける。授業の節 復習を使ってグループさせることで力をつけていく。

いかに効率よく進めていくのか。この授業例キーワード、m原題。まとめ プレートで貼って時間短縮。難しいけれど大事なところ

導入で失敗 直線 この根拠 この根拠を前時でそこまでしてるから問うのはせいでいい

腹式初めて習得後、1年生 頑張っていたね。互いの視点を認めていたのがいいね。しゃべるときに背で見るにはどうしたらいいかな。

1年生は大変だな。複式は大変

最初は5分ずらしていきただけで複式進められる。ズレてきた時間で、担任は夢中に見守って行けるようになる。

主体的に子供が動けるように観ていくこと。常に同じように。毎回の繰り返し ぶれないで授業を進めていく研究が大事。

欲張る必要はない。

保留にしないで引張っていくのもいいかも

【1・2年生振り返り】

- ・1・2年生共に、「授業のねらい」を達成することができていた。
- ・「授業のねらい」の達成の理由について、①日常の藤森先生の手立てが良かったから、②ワークシート、発問の焦点が明確だったから、など
- ・支援の先生との打ち合わせも大切（渡り・間接の際の支援の動き、子ども達への指示の補助）
- ・評価の見取りや子どもの様子をよく見るために、同時間接で、どちらの学年にもつかずに、子どもの活動を見る時間に入れられると良い。
- ・1年生への指示は、複数あると難しい。2年生は掲示での指示で直接の指示の重点を1年生に置くなど工夫すると良い。